

製品名: RAB32 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16785**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	24kDa

抗原情報

遺伝子名	RAB32
別名	
遺伝子 ID	10981.0
SwissProt ID	Q13637
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 160~240

背景

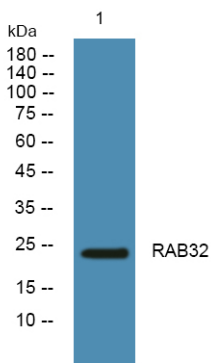
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、プロテインキナーゼ A の II 型調節サブユニットをミトコンドリアに固定し、ミトコンドリア分裂を補助する。このタンパク質は、オートファジーとメラノソーム分泌にも関与していると考えられる。この遺伝子の変

異はハンセン病と関連している可能性がある。[RefSeq 提供、2015 年 12 月]機能: プロテインキナーゼ A の II 型調節サブユニットに結合し、ミトコンドリアに固定することで、A キナーゼ固定タンパク質として機能する。また、ミトコンドリア分裂の同期にも関与する。類似性: 低分子 GTPase スーパーファミリーに属する。Rab ファミリー。組織特異性: 心臓、肝臓、腎臓、骨髄、精巣、結腸、胎児肺で広く高発現している。、

研究分野

タンパク質リン酸化; Ser/Thr キナーゼ; PKA; シグナル伝達; シグナル伝達経路; G タンパク質シグナル伝達; 低分子 G タンパク質; Ras ファミリー

画像データ



SH-SY5Y 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、RAB32 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩